あしがら農の会

通信　二〇二一年 9 月号

第230号　**令和参年**(旧)文月廿一日（2021.8.28)発行

発行　NPO 法人 あしがら農の会　http://nounokai.com/
代表　吉宮　直美　080-8723-2616(携帯)
編集　石井　智子　090-3502-1353（携帯）
bombalurina@savanna.dti.ne.jp（石井）

地場　旬　自給

あしがら農の会はあしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立されました。(2003年にNPO法人化)
地域の中の休耕田を借りて自給のための米作りから始まった会は、現在以下のような活動を行っています。

農産物の宅配： 会に賛同する野菜の生産者と、地域で自給の為の野菜の作り手が集まって、無農薬・無化学肥料栽培の野菜宅配を行っています。(その他、米、お茶、果実、卵、鶏肉、豚肉などもあります)

田んぼの会： 現在約１００家族以上が、あしがら平野の13カ所で自給用の稲を育てています。

お茶の会： 山に戻ってしまうお茶畑を、市民で手入れできないかと始まりました。５月には参加者約100名が、各自１年分のお茶を摘み取ります。

大豆・味噌の会： 大豆は７月に苗作りから始まり、11月に収穫します。その大豆と、各自が田んぼの会で作っているお米で、１月には麹づくりから味噌作りを行っています。

小麦の会： 月１キロの小麦の自給を目指します。

その他、四季折々の行事を行っています。関心のある方はどなたでも参加できます。

★星の子供たち

私たちが食べている食べ物は星から作られていることを知っていますか？本当の事ですよ。口にするすべての食物はスターダスト（星屑）からできています。よって私たち自身も星から来ました。

人間の肉体の99%は酸素、炭素、水素、窒素、カルシウム及びリンの6つの元素からできています。これらの元素はどこから来るのでしょうか？宇宙のすべての物質とエネルギーはおよそ138億年前にビッグバン（大爆発）によって生まれました。しかしビッグバンのせいで宇宙に現れた元素は4種類だけでした。それらは水素、ヘリウム（風船作りに有効）、リチウム（電池に使われます）そしてベリリウム（時々核爆弾を作る時に用いられてきました）でした。それでは他の元素は何処からくるのでしょう？

ビッグバンから約1億年後に宇宙の物質が集まり始めたことにより星が生まれました。ほとんどの元素はこの星の内で起こる原子核反応で作られたのです。最終的に星はその命が終わるとき爆発します。爆発した星の中の物質は（炭素、水素、窒素、鉄など）宇宙空間に飛散し他の星やその周りを軌道する惑星の材料になります。もし星の爆発が無かったら我々が暮らす世界は存在しなかったでしょう。周りの畑をご覧ください。茶碗の中のご飯をご覧ください。自分の手をご覧ください。すべてを構成する大多数の原子は大昔爆発した星々から届きました。我々は星の子供です。

Paul Courtney（ポール・コートニー）

ゆんたく広場

なんくる農園　松本 邦裕

2002年7月に細々農業を始め今年20年目に突入。20年色々ありましたが振り返ればあっという間。体調を壊し仕事を辞め沖縄にわたり、沖縄で救われ農の道に・・・色々な方に助けられ、農の会と出会いスタートできた農の道。細々ながら農業で生計を立てることもでき・・・たぶん（笑）、3人の子供もそれぞれ自立・・・こちらもたぶん（笑）。

当初は農の会の宅配も誕生したばかりで徐々に農業者仲間が集まりだした頃。素人集団が切磋琢磨しながら徐々に農業者らしく育ち・・・やっぱりたぶんかな（笑）。次なる道に進んだ仲間もいたり、それぞれの形でしっかりと地に足をつけ今も充実した農業を営む仲間。なんくる農園もそれなりにお野菜を提供し続けることができるようになったのかな？

わったーも来年には生まれ変わりの年。就農当初は病弱だった体に鞭を打ちがむしゃらに農作業を積み上げてきた。おかげで体調も良くなり特に内臓はそこそこの健康体に？ただ一つ腰が心もとなく。ともに農の道を営んできたかみさんも今までのようには中々・・・わったーよりもほんの少し若いけれど。これからはゆとりをもって農の道を楽しめるようにギアチェンジを共々模索中・・・。

高度成長期の真っ只中に生まれ日本の経済の発展を実感し、社会人になってはバブル経済も・・・今は朝から晩まで畑でコツコツ農作業。100円200円のお野菜を少しでも喜んでいただけるようにと。それでも日々小さな喜びを貯金箱に積み立てる日々。もうどれくらい貯まっただろうか。最近は腰痛が悪化してもう百姓無理かなと思うときもあるけれど、その時は貯金箱から少し拝借してあとは又貯金かな（笑）。

小銭をちまちまためてほくそ笑む小心者。それでもこんな時代ではありがたい日々！感謝は感謝をうむか・・・。

おむつに頼りすぎない育児と介護 ②
～排泄の尊厳と地球環境を守るために～

あじさい田んぼ　和田智代

●世界で深刻化する紙おむつゴミ問題

プラスチックゴミ削減が世界的な課題となり、日本でもレジ袋有料化などが定着してきました。でも、同じプラスチック製品である紙オムツについては、話題に上ることすらありません。実は、紙おむつ使用量が急増している途上国では問題が深刻化しています。ゴミ処理システムが埋め立て式の国で、処分場が満杯になってきているのです。特に紙おむつは尿・便という水分を吸って膨らむので、大きな体積を占めます。

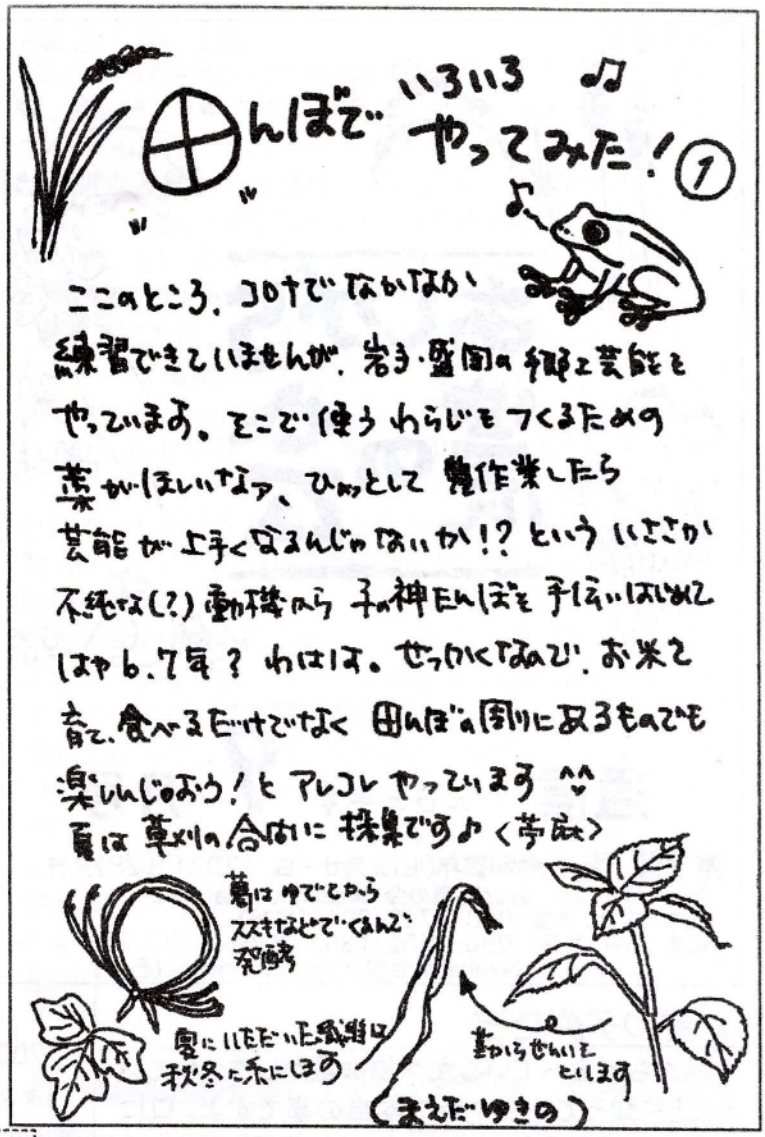
●パヌアツ国が紙おむつ使用禁止令！

そんな中、南太平洋の島国パヌアツが、環境汚染改善のために「紙おむつ使用禁止令」を発表し、世界に衝撃が走りました！家庭ごみの中で最も量の多い品目が、紙おむつだと判明したからだそうです。

●紙おむつの分解に必要な年数は？

紙おむつに使用される材料の多くは石油由来のもの。環境保護団体の試算によると、もしも土に埋めた場合、自然に分解されて消えるまでに約 450 年かかるそうです。パヌアツ国が危機感を抱いて「紙おむつ禁止令」を出したのもなんだかナットクですよね。この紙おむつゴミの処理問題、実は他人事ではありません！そして！日本政府はびっくりな処理方法を検討しているのですが、それはまた来月号で・・・

★おむつなし育児研究所ウェブサイト：
http://www.omutsunashi.org/★



農のデータコラム★76・ビールの税金と多様性　今年の夏もビアガーデンどころか居酒屋でもビールは飲めませんでしたが、相変わらずビールのテレビ CM は多いですね～？？しかし日本のビール会社というとなぜ 4 社くらいしかないのでしょうか？？日本初のビール醸造所ができたのが 1869 年、その後のビール人気で 1887 年には 100 社くらいのビール会社ができました。日清戦争後の 1896 年まではビールは免税とされていましたが、日露戦争 3 年前の 1901 年には戦費収集のため麦酒法がかけられるようになり、大きな資本を持たない中小の会社は廃業に追い込まれて、その年末には 23 社にまで減ってしまいました（1906 年には今のサッポロ、アサヒの合同会社の大日本麦酒と麒麟麦酒ができました）。

それから最近の 1994 年にビール製造免許を取るのには年間 2000 リットル以上という製造酒税法が一気に 60 リットルにまで引き下げられるまで、ビール業界に参入することはサントリー以外はほぼできませんでした。その閉鎖性のために、最初に広まったドイツのピルスナータイプのビールしか日本には広まらず、ビールには多様な種類が生まれることがなく、大量生産大量消費されている味がビールの美味しい味として刷り込まれてしまいました。

鉄道の普及と日露戦争の軍隊、戦時中の配給でもビールは配られて、国をあげてビール人気はとどまることを知らず、その中で今でも値段の 4 割という高額な税がかけられていて、ピークの 2000 年は酒税収入が 1 兆 7653 億円なので 7000 億円を超えるビールでの税収がありました。その後の 20 年でお酒の消費が35%減ったとはいえ、今後は多種多様なビールがうまれ、高額な税収が二度と戦争に使われないことを望みます。

Futoshi Kurosawa　黒澤　太

ミャンマー・食生活の楽しみ㉜ペトゥ（汁なしワンタン）

親子田んぼ　梅崎利通

今年の通信2月号㉕で登場した屋台のメニューの中で、個人的にはシャン・カウッスエよりペトゥの方が好きだ。店に立ち寄り椅子に座ると、店のおばさんは毎度私に「ペトゥだね」と確認する。以前たまたま立ち寄った時に隣の人が食べているのがうまそうだったので、「これと同じ物を」と注文したのが始まりだ。食べ終わって名前を聞くと、「ペトゥ」と教えてくれた。いわば「汁なしワンタン」だ。市内では麺の屋台が中心でワンタンの屋台は見かけなかったので、あの 15 番通りの屋台独自の料理だったのだろうか。はっきりしない。職場のミャンマー人にペトゥと言っても分からなかった。特定の地域や民族の言葉かも知れない。お客から注文を受けると、タッパーから細かく切って下味のついた豚肉を取り出し、シューマイの皮に包んで、切り刻んであった白菜と一緒に麺湯切りザルに入れ、沸騰したお湯で茹でる。しばらくして取り出して水を切り、丼に入れて、シャン・カウッスエ同様の各種調味料や具を振りかけて出てくる。これにやや辛めで胡椒の利いたスープが添えられる。ケチを付ければ、ワンタンは 10 個もなく、やや量が少ないのが難点だが、脂っこいミャンマーの多くの麺類と趣を異にし、あっさりとしていて、私は気に入っている。シャン・カウッスエと同じ値段である。

農業塾

●子供と野菜

松田理歩

酒田さんからの紹介で、今年度から4歳の娘と1歳の息子と一緒に参加させていただいています。一昨年までドイツのベルリンに居住し、子育ての合間に絵本の翻訳などをしていました。その後世界の状況が変わってしまったため、しばらくは母国の日本に住むことにしています。小田原に素晴らしい環境を予感し、ここに住むことにしましたが、この農業塾に出会えて子供たちと参加できていることは想像をはるかに超えた幸運でした。畑に着くまでのトトロの世界のようなトンネル道が美しく、毎度来るたびに心が洗われます。

色々な作物が育つ様子を観察するのが、これほどにも色々な気持ちになることとは知りませんでした。月一の作業日に同時に種を蒔くにも拘わらず、区間によってまるで違った様子が伺えるのは面白いです。肥料の量やその後のお世話の回数はもちろんのことですが、それ以外にも無限の境遇とともに作物が呼吸しているのを肌で感じます。私は息子をおぶっての作業でままならないことも多いですが、優しいみなさんの手助けなどを受けながら、そのような境遇の元でなんとか育った野菜を料理する瞬間は、不思議な自信に満ちています。そんな野菜たちが、好き嫌いの多い子供たちのお腹にまではたどり着かなかったとしても、一緒に育てた思い出に意味があるように感じる日々です。

●初めまして、篠田操です。大豆の会デビューです。

朝からザーザー降りの8月22日。ずっと楽しみにしていたのに、今日は中止かな？と思いきや一転晴れ渡った真夏日。途中運転手が道を間違えて遅刻。やっと辿り着くと、もう作業の真っ最中でした。ザワワの大豆と雑草。バッタ、カエル、トンボ。伸びやかに駆け回る子ども達の笑い声と光る汗。そうそうイナゴ初めて見ました。自然や手作りのていねいな暮らし。家族のぬくもりや笑顔を大切にしたい。と思いつつ雑事に追われる毎日です。いつかベジスイーツや発酵食品などを供するお店を開いて育ててくれたふるさとに恩返しをしたい。そんなささやかな夢が叶う日はいつ来るのでしょうか。「そういえば、『大草原の小さな家』が大好きだったなぁ」と初めての鍬に格闘しながら懐かしく思い出しました。時折吹く爽やかな風は力仕事でフラフラの体にとても優しく、雑事に追われる心にとても優しくて、疲れ果てているのに心も体も爽快でした。いい仕事したなぁ。

とても豊かな自然と素敵な方々に巡り会えたこと。心から感謝です。ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。仕事の後はビールが美味い！素敵な仲間にカンパイ！

大豆の会

●土寄せ作業初体験

長谷部 明夫

あしがら農の会（大豆の会）の土寄せ作業に初参加させていただきました。初参加に至った経緯ですが、農業への転職を考えており、農業ボランティアの募集を探していたところ、FBで畑の土寄せ作業の募集の投稿を拝見し、これまで農業ボランティアなどで様々な農作業を経験してきましたが、土寄せ作業の経験はなく、是非この機会に経験したいと考え参加を決意しました。農作業というと汚い、きついなどの世間のイメージがあり、参加者は少ないだろうと思っておりましたが、予想以上に人数が多く驚きました。参加者の皆さんとも農作業について色々とお話しができ、とても楽しかったです。また私が農業へ転職する事をお話すると、応援してますなど暖かい言葉をかけていただき嬉しかったです。

土寄せ作業に関しては初めての作業で上手くできるか不安でしたが、先輩方から丁寧に教えていただき、2つ目の畑へ移動するころには、コツを掴み作業にも慣れ休憩するのを忘れる程、作業に没頭しました。ただ慣れてない姿勢で長時間作業したせいか翌日には筋肉痛に襲われました。体力や力には自信がありましたが、改めて農作業の大変さを実感しました。今回、初参加となりましたが、皆さんのおかげでとても楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。また参加する時には、よろしくお願いいたします。

●記録

名前は聞いていないのですが、ソーセージ畑で男の子が話しかけてくれました。小さな人と話すのはあまりに久しぶりだったので、すこし緊張しました。目が合い、にっと笑うと、男の子はゆらりと通っていきます。裸足でした。

作業の後も男の子のにっと顔が一日印象にのこっていました。子ども、小さな人、人ってなんだろ。かたちが崩れてにっとの印象だけがある。そうなるともう、ポジティブに、また誰かとたのしく出会えたらいいなと思いました。

農作業は、みなさん汗をかきながら談笑されていたり、黙々と手を動かし続けている方や、子どもの遊ぶ声が聞こえてきたり、生きものや土の気配、雲越しのおひさま。今回参加させていただき、ありがとうございます。何人もの人と同じ場で、しかも商いではなくやるというのも新鮮でした。

ソーセージ畑と舟原の畑では土の状態が違っていて、ソーセージは柔かく、黒っぽい様子。「土ができあがってる」と会の方から伺って、どのような手入れをされているのだろうと知りたくなりました。仕事の都合により途中で作業を抜けてしまったので、次の回は終わりまで…！と思います。

バッタの咀嚼。綿棒の波打ち。噛む、はむ。腹の膜がうねる。喰らう。食べ物だらけじゃないか。

（小清水聡）

♪可笑チナキッチン labo♪～その38～ ⑨

家族が言うには雨降りの日の散歩は「家から2、3歩出て、雨だと気づくと濡れるのイヤダーと直ぐ引き返し家に戻ってきちゃうんだよね」と。え？そうなの？私と行く時は大概そうじゃない、この前の小雨の朝は小一時間散歩した。あっちの草むらの匂いを嗅ぎ、こっちの田んぼの白鷺に向かって挑発しに、向こうの畑にオリエンタルな雨傘帽子で黙々と草刈りする人影有れば必死で偵察に行こうと引っ張る。雨傘と長靴姿の私はまだいいが、興奮するたび逆立つとたてがみのような白い背中の堅毛はびっしょりなのに、帰ろうという気配すらないので「母ちゃんご飯まだなんだよな、ごはん食べたいなぁ」と"ゴハン"を強調して連呼。おこぼれ貰えると思ったか、自分が2度目の朝ご飯食べられると思ったか、家の方へ足は動きだし公園の中を通る。雨で地面が剥き出しに感じるのは土の地表のあちこちに失敗でもしたかのようなコンクリートと思しき地表が現れているからだ。小さな子供が多い公園なのに、これでは転んだら危ないのに、と思うのはただの老婆心？地表が土でない事に疑問を感じる。一見些細なことだけど変だなと思うセンサーは磨いておかないと。元長野県民は元長野県知事の出馬表明演説に聞き惚れ、週末のＹ市の大きなうねりになりそうな選挙の動向に釘付けだ。庭の虫の音と唇の乾きに秋の始まりを感じて、土鍋に出汁昆布と凍み豆腐(高野豆腐)や車麸を投じクツクツと。ほろほろに解けた食感に胃も心も溜息つく。学校給食と宅配弁当、豊かなのはどちらかなんて。言わなくても、ね？

小泉知奈美/イラスト kanna

石垣島便り 25　笹村　出

石垣島の田んぼにはジャンボタニシが小田原の永塚周辺の田んぼの10倍はいる。この機会にジャンボタニシ対策を研究するつもりで取り組んでいる。田んぼに水を入れて、水牛で代掻きをしていたのだが、田んぼにはまったく雑草が生えない。一切の草をジャンボタニシが食べてしまうのだ。タニシを30分拾い歩けば、300個ぐらいは当たり前である。石垣の稲作農家の人によればこのまま田植えをすれば、苗がすべて食べられてしまうということだった。しかし、田植えをしてみた結果ほとんど食べられていない。5．5葉期の田植えをすれば、ジャンボタニシは苗を食べないのだ。これは予測したとおりの結果である。

用心のための対策は2本植えである。これは風対策でもある。何しろ苗作り後半と田植え後に台風が来た。一本植えはなぎ倒される株が続出した。比較のために植えた2本植えは持ちこたえた。風に対して2本植えは相当に強い。その上ジャンボタニシにかじられても一本は残る。

もう一つの対策は畦際を掘り下げておくことである。畦際が深ければ、そこにタニシは集まる。これを拾えば密度を一気に下げることが出来る。ジャンボタニシ対策はメドがついた。

相変わらず雑草は1反4畝に一本もない。草取りをやらないですむなら、タニシ拾いぐらいたいしたことでは無い。

【通信が置いてあるお店】 ポタジェララ/カフェブラッサム/バックシュトゥーベ IMAYA/えれんな ごっそ/がらんどう/かふぇ・えりむ/和カフェ ChaCha/井上種苗/ハルノキ/フロマージュ/ベーカリーアスラン/fumoto/ Rythme hair dressing/悠久庵/縁-えにし-/ナラヤカフェ/ロコモケア/いわしや/しずく会/ルネス/アトリエ・ヴァイツェン・サエ/TEA FACTORY 如春園/NON FLAG/Café きまま

虫と私 18　新倉和宏

【昆虫たちのコミュニケーション①ー音ー】今号が出る頃には、夏も終わりすでに秋模様でしょうか。秋と言えば、鳴く虫の季節です。秋の代名詞と言えるほど、日本では非常に身近な昆虫たちではないでしょうか。唱歌にもなっていますので、種名や鳴き声などご存じの方も多いと思います。今回は、音に着目して昆虫たちのコミュニケーションについて紹介したいと思います。

秋に鳴く虫は、スズムシ、クツワムシ、マツムシ、コオロギなど色々な種類がいますが、全て直翅目（バッタ目）の仲間です。これらの昆虫たちは、人間を楽しませるために鳴いているのではなく、主に異性を引き付けるために鳴いています。鳴いているのは、全てオスです。生物界では、ヒトを含め、オスがパートナーを見つけるために目まぐるしい努力をしています（笑）。話が逸れましたが、音を出す秘密は翅にあります。前翅にヤスリ状のギザギザがあり、前翅を高速で動かすことによって、この部分を擦り合わせて音を出しているのです。このとき、翅を立てるようにしているのですが、翅と腹部の間に空間を作り出すことによって、共鳴効果を大きくしていると言われています。

鳴く虫の代表はもう一種類います。そう、セミです。セミ（半翅目（カメムシ目）の仲間）が鳴く目的や性別は、上の虫たちと同じなのですが、音を出す仕組みが違います。セミは、体内の発音筋と呼ばれる筋肉を振動させ、この振動を発音膜に伝えることによって音を出しています。このとき、腹部にある空洞が音を増幅し、あのような大きな音を出しています。

MAGOの森・21「キッコウチク」　近藤まごのり

森に入り道の左側、ホルトノキやカツラの木に続いて竹林が現れます。孟宗竹のように見えますが、漢字で書くと「亀甲竹」、イネ科マダケ属モウソウチクの突然変異種です。本来竹の稈は水平なのに節間が交互に膨らみ、その結果名前の通り根元が亀の甲羅のようになっています。 突然変異したキッコウチクは孟宗竹に比べて太さも細く、高さも低くて主に観賞用として庭に植えられました。MAGOの森のキッコウチクの筍も孟宗竹と同じように食べることが出来ます。節に特徴がある稈は水戸黄門が杖にしていたと言われています。大豆小屋の横には杖に出来る稈が置いてあります。気に入ったものがあれば使ってみて下さい。

さて、筍としても美味しい孟宗竹は建築材や農漁業、竹細工などの生活用具の資材として中国から江戸時代薩摩藩に有用植物として導入され、日本全国に広まりました。1960 年代までは資材として使われていた竹材ですがプラスチックの出現や、筍を始め安価な中国からの輸入で次第に国内の竹林は管理が放棄され、今や全国至る所で野生化し農地や本来の植生を壊す迷惑植物と化してしまいました。農地再生のためにも竹林の管理が大きな課題です。

お知らせ

・9/7［白露］　・9/23［秋分］

●朔 9/7　◑上弦 9/14　○望 9/21　◐下弦 9/29

一粒万倍日　9/1、9、16、21、28、 10/3、13

9月度定例会　9月11日（土） 18:30～

@尊徳記念館 301号室　担当：あじさい田んぼ 瀬戸